

「寄付頂いた皆様
ありがとうございました」

旧職員	西田 卓司
中20回	五辻 精一
中21回	久木 尚幸
中22回	是枝 哲也
中23回	黒川 行信
中24回	坂井 幸蔵
中26回	羽生 眞彦
高5回	四方 正汎
高6回	金子 伸
高7回	大西 潤吉
高8回	直木 則男
高9回	神崎 雄康
高10回	岡山 良江
高11回	石丸 正一
高12回	岡田 道一
高13回	柴田 孝一
高14回	坂本 昭夫
高15回	永井 郁子
高16回	橋本 映子
高17回	長谷川 隆士
高18回	小林 幹弘
高19回	伊崎 敬祐
高20回	小林 雅東
高21回	小林 征支郎
高22回	林 肇一
高23回	藤原 美智子
高24回	赤曾部 美智子
高25回	花蘭 征夫
高26回	久恒 千里
高27回	橋本 洋子
高28回	中谷 宏
高29回	木村 千代
高30回	柴田 静子
高31回	改森 義弘
高32回	池田 雅彦
高33回	田邊 克朗
高34回	中野 泰満
高35回	安達 泰満
高36回	山本 耕一郎
高37回	白園 高弘

高12回	中谷 元紀
高13回	畑岡 裕子
高14回	雑本 眞佐男
高15回	中島 昭康
高16回	中塚 文男
高17回	森川 久美子
高18回	石堂 美和
高19回	新本 勝也
高20回	恵美 裕一郎
高21回	金剛 静慧
高22回	吉井 誠司
高23回	森光 芳子
高24回	小川 和典
高25回	渡辺 和夫
高26回	樋口 加代子
高27回	大石 博之
高28回	満藤 英世
高29回	宮崎 彦助
高30回	内田 邦弘
高31回	田中 洋子
高32回	加古 正弘
高33回	三木 信一
高34回	成田 俊夫
高35回	玉置 誠一郎
高36回	高柳 園子
高37回	七尾 誠一郎
高38回	大谷 忠彦
高39回	黒石 義弘
高40回	中野 義博
高41回	浅井 厚夫
高42回	増田 希真
高43回	赤松 雅人
高44回	岩崎 俊勝
高45回	長谷川 哲夫
高46回	中尾 幸夫
高47回	中村 光政
高48回	岩井 健治
高49回	竹添 昇
高50回	岡本 敬子
高51回	根岸 幸幸
高52回	塩川 文男
高53回	山根 幸幸
高54回	山口 哲夫
高55回	鞍谷 幸治
高56回	橋本 幸治

高21回	横田 福久
高22回	谷川 健次
高23回	稲毛 希之
高24回	室田 邦夫
高25回	本多 賢次
高26回	長井 浩一
高27回	谷 和義
高28回	橋本 伸一
高29回	田原 裕之
高30回	中野 俊彦
高31回	大塚 尚彦
高32回	江村 啓美
高33回	溝口 直樹
高34回	小寺 淳一
高35回	梶野 良泉
高36回	永松 隆司
高37回	青木 眞信
高38回	大木 康和
高39回	中山 信一郎
高40回	光崎 恭子
高41回	孫 裕子
高42回	宮崎 裕子
高43回	井原 康子
高44回	広瀬 純子
高45回	石田 純子
高46回	上野 純子
高47回	高木 京子
高48回	中澤 洋三
高49回	酒井 啓也
高50回	牧野 裕和
高51回	小川 和也
高52回	池田 康也
高53回	上原 康也
高54回	星 康也
高55回	斎藤 康也
高56回	吉田 千恵子
高57回	衣川 千恵子
高58回	米村 千恵子
高59回	大越 英智

高33回	高橋 満喜
高34回	小口 志郎
高35回	藤澤 志郎
高36回	松本 靖之
高37回	花房 公江
高38回	田中 聡
高39回	戸田 初恵
高40回	松本 希志
高41回	小阪 知子
高42回	高山 陽子
高43回	岸本 陽子
高44回	大阪 和子
高45回	藤友 和子
高46回	今田 徳子
高47回	船台 千浩
高48回	石原 敬子
高49回	関 雅之
高50回	佐土原 豊
高51回	生田 泰志
高52回	奥川 昭夫
高53回	藤井 久彌子
高54回	堀江 愛
高55回	永井 千樹
高56回	半田 岳志
高57回	徳元 一樹
高58回	中島 朗洋
高59回	櫻井 美津子
高60回	金光 桂子
高61回	後藤 武宏
高62回	下田 武宏
高63回	丸川 貴史
高64回	首藤 一平
高65回	湯村 真沙子
高66回	宮武 亜季
高67回	波多野 淳一

「神撫会文庫」への寄贈図書
(令和元年六月〜令和二年五月)

- 安水 稔和 (中24・高2回) 編集工房ノア
- 「安水稔和 詩集 辿る 続地名抄」 編集工房ノア
- 「安水稔和 詩集 繋ぐ 続地名抄」 編集工房ノア
- 高藤 匡子 (高9回) 思潮社
- 「耳風き目風き」 思潮社
- 匿名 講談社
- 「濠い時代」 P H P
- 「知価革命」 文藝春秋
- 「口語訳古事記(完全版)」 講談社
- 「ドイツの発想と日本の発想」 新潮社
- 「文明が衰亡するとき」 サイマル出版社
- 「スイスの知恵」 有斐閣
- 「ジャパン・クライシス」 TBSブリタニカ
- 「ジャパン・スズ ナンバーワン」 文藝春秋
- 「ザ・ジャパン」 文藝春秋
- 「THE JAPANESE」 CHARLES ETTLE COMPANY 海青社
- 「海を語る」 海青社



頑張ろう!! もう少し

☆中18回生 S47年32号から昨年79号迄連続発信しているが、今年1名減。盟友柴田忠昭兄昨年12月13日急逝。ご冥福を祈るのみ。

80号が投函される諸兄29名 有馬・石井・石野・石丸・白井・宇土・大柴・岡田・奥西・北村(陽)・貴地邦・小林(若)・庄野・白濱・鷹取・田部・寺岡・名方・永田(長)・中間・中村(暢)・信澤・長谷川・福美・箕島・毛利・森下・山岸・吉田です。ご壮健を信じています。

中18回生便り45冊「波濤を越えて」7冊を80号投稿に当り熟読すると、いろいろ有りました。S13年入学早々山津波・紀元2600年祭・大戦突入・勤労動員・学徒出陣・復員。食糧難・S21月給65円で混沌の世に船出。朝鮮戦争・スターリンショック・東海道新幹線開通・東京五輪・ドルショック・オイルショック・平成元年・花博・バブル崩壊・村山内閣・明石大橋・阪神淡路大震災・神戸空港等々いろいろ経験。幸か不幸か?!。現在新コ

ロナで戦々恐々、世界科学者協力し治療薬・ワクチンが一日も早く完成する日待ち望むや切なり。

先日京大鎌田浩毅教授の話聞く機会有り「阪神淡路地震が起きて以来、西日本は直下型地震の活動期に入る。今準備すべきは『南海トラフ巨大地震』である。いろいろの研究結果15年後に必ず襲ってくる激甚災害を日本人の創意工夫で迎え撃ちたい。」と。

卒寿を祝い千秋楽

☆中22回生 昨年10月24日、神戸三宮東急レイホテルで、卒寿を祝う同窓会例会・懇親会を催しました。東京の尾崎喜多男君、横浜の田中雄二君、千葉の中桐伸夫君、熊本の中根守久君など遠来の友を迎え、18名が元気に集まりました。神戸三中を卒業して70年余り、健やか



2019/10/24

に卒寿を祝う集いに参加できる幸せに感謝し、故人となった多くの世話人や友たちを偲び、楽しく和やかな一刻を過ごしました。

最後に、創立100周年を迎える母校の1層の発展と、お互いの益々の健勝と活躍を祈念し、ワインで高らかに乾杯して、永年続いてきた歴史ある集いの千秋楽と致しました。

(黒川 行信)

卒65年続くクラス会

☆高5回生 理事・評議員会には川口(理事)、山塚、室田の3人が出席して



ます。最近の主な議題は、100周年事業の同窓会館の建設とその募金の協力です。神撫会総会に参加すると、若い女子卒業生の出席者が多くなかなか華やかな雰囲気です。卒業生の講話、合唱団のコーラス、在校生の部活の披露など楽しい時間になります。

5回生3年5組のクラス会は昭和30年から65年間続き、毎年秋に開催しています。桜井明先生も平成11年までご出席でした。昨年は10人が出席し盛会でした(写真)。また負担軽減のため2年前から案